

# 令和元年度 指定管理業務 評価票

大泉緑地	【指定管理者】 大泉緑地指定管理グループ	【指定期間】 平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日	【所管課】 鳳土木事務所 都市みどり課
------	-------------------------	------------------------------------	------------------------

<p><b>【管理状況(概観)】</b>                  ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。花と緑の相談所では、五感で楽しめる新たなプログラムを実施し来所者の増加を図るとともに、音楽イベントの実施や継続したBMX国際大会の実施などにより、公園の活性化に寄与した。                  ○施設の維持管理は概ね良好で、昨年度の台風被害木が残る中、標準処理本数を大幅に超えた倒木処理を実施すると共に、倒木被害を継承する展示を行うなど、新たな価値の創出や今後の森づくりへ向けた取り組みを行った。                  ○利用者満足度調査の全体的な満足度については良好で、財政基盤及び管理体制についても管理業務を遂行する上で問題は見られなかった。</p>
--

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価 (S~C)	施設所管課の評価	評価 (S~C)	【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
<b>I 提案の履行状況に関する項目</b>						
(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	<b>A</b>	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	<b>A</b>	施設所管課評価は適正である。
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	<b>A</b>	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	<b>A</b>	施設所管課評価は適正である。
	公園利用者の利便性の向上がなされたか。(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。) ※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認	<p><b>【実績】</b>                      ○来園者数(4~11月):269069人                      ○イベント                      ・ふれあいの庭三夜連続プログラム(春と秋)                      ・健康づくりー森林浴ヨガ定期開催(4~10月)、企業対抗リレーマラソン(6月)                      ・伝統文化ー薪能実演(5月)                      ・地元界の活性化ー野外ライブ(10月)                      ・BMX国際大会の開催協力(観覧エリア整備、10月)                      ○情報提供                      ・ふれあいの庭に施設案内アプリ「ココシル」導入(9月~)                      ○相談所利活用                      ・みどりのサロンPRポストカード作成                      ・【味】葉物野菜の展示販売(7月~)                      ・【触】かぶとむし相撲体験(7~9月)                      ・【嗅】香りの体験(9~10月)                      ・【聴】植物の音体験(準備中)                      ・地域ニーズに対する出前相談「みどりのサロン」(西成区社協、貝塚市)                      ・相談件数1800件(4~11月、対前年2倍超)、来館者数22500人(4~11月、対前年1.2倍)                      ○スポーツ施設稼働率(4~11月):テニスコート40.3%、野球場78.8%</p> <p><b>【自己評価】</b>                      ・五感で楽しめる新たな企画により府民との対話機会の充実と相談所の活性化を図ることができた                      ・地域ニーズ・課題の解決に貢献できた(相談所みどりのサロン)</p>	<b>S</b>	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施するとともに、提案以上の取組みを実施した。  花と緑の相談所の利活用では、五感で楽しめる新たな企画を実施したことにより相談件数が昨年の2倍超え、来館者数も1.2倍になり、府民との対話機会の充実や相談所の活性化が図られたことは高く評価できる。	<b>S</b>	施設所管課評価は適正である。  花と緑の相談所では昨年度から大きく利用者を増加させる等、利用者増加の取り組みの効果がでていることは高く評価できる。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(3)利用者の増加を図るための 具体的手法・効果	収益事業の実施状況、(応募時に提案した収益事業に 取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに 沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書 に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに 沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書 に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の 管理への反映がなされたか。(接客等の職員研修の実 施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	【実績】 ・大泉緑地の猫問題に対して、野良猫問題(適 正管理、虐待問題等)と捨て猫問題(捨てにくい 環境づくり、捨て猫の保護・譲渡等)の視点か ら、野良猫不妊手術(TNR49匹)、猫問題意見 交換会等を通じた意見調整(適正管理の仕組 みづくり、捨て猫の保護・譲渡のあり方等)に取 り組んだ。 ・トラブル等が発生した際は、速やかに現場状 況や事実関係の確認を行い、利用指導や簡易 修繕などその場で対処できることにはすぐに行 うなど、誠実な対応に努めた。 ・トラブル等の内容に関して、様式第21号苦情 等処理簿や日報等に記録するなど適切に対応 するとともに、必要に応じて大阪府に報告した。 ・トラブル等に関する情報や対応内容につい て、日報や朝礼を通じてスタッフ全員で共有し、 日々の管理業務へ反映することで未然防止・再 発防止に努めた。 【自己評価】 ・野良猫問題、捨て猫問題は地域の課題でもあ ると捉え、地域の方々とともに、解決に向けて 取り組んだ。 ・トラブル等に対して誠実かつ適切に対応する とともに、同種のトラブルの未然防止に向けて、 情報の共有と管理業務への反映を図ることが できた。	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに 沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書 に示した事項を全て実施した。  大泉緑地の課題の一つである猫問題に対 して、地域住民などとともに野良猫の適正管理に 向けたルール作りに取り組むなど、課題解決に 向けてた取り組みは評価できる。引き続き取り 組みの拡大を期待する。	A	施設所管課評価は適正である。
	草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、 良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術につ いて確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの 確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	【実績】 ・昨年台風21号による倒木(昨年度未処理分) の処理を集中的に実施(4-11月230本) ・倒木被害と多数生じたギャップを踏まえた樹林 地の今後の管理・利活用方針について大学と 共同検討 ・一部先行して、被害の記憶を保全し環境学習 に役立てることを目的に倒木を保全 ・地元堺市の写真家の作品(木になる顔たち)と なっていた倒木(ユリノキ)を、写真家の要請を 受けて再生し、写真家の今後の活動(作品集、 ワークショップ等)につながるよう協力した ・草地管理:利用状況や草の伸び具合に応じて 適切に実施 ・芝生地管理:中央花壇の芝刈り9回目まで完 了 ・樹木管理:支障木の剪定・伐採(適宜) ・剪定枝リサイクル:チップ化、敷均し(樹のみ ち等)、無償提供 ・草花管理:中央花壇・ひつじ広場前花壇他の 植付→春夏花壇(ジニア他)、秋冬花壇(ピオラ 他) 【自己評価】 ・昨年の台風被害樹木について、処理を進める ことと並行して、公園の資源・魅力に変え、今後 の公園利用に活かす取組を進めた ・利用状況や草の伸び具合に応じた草地管 理、危険木処理等を適期に行い、快適・安全な 利用環境を提供できた	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに 沿って適切に管理・運営を実施するとともに、提 案以上の取組みを実施した。  昨年の台風被害木について、引き続き標準本 数を大幅に超えて(11月末時点で2.2倍)積極的 に処理を進めるとともに台風被害の記憶という 観点から、被害木の展示化に取り組んだ。  ・また、その後の森づくりに対して、学識経験者 を交えて検討を行うなど、公園の森づくりへの 取り組みは高く評価できる。	S	施設所管課評価は適正である。  学識経験者を交えた森づく りの検討と取り組みは高く評 価できる。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(4) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	運動施設について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期および技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)	<p>【実績】</p> <p>かきつばた園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城陽の補植100株、白鷺の移植80株と株分け100株</li> <li>・実生苗から高温耐性品種を選抜。生育良好株の2代目を育成中</li> <li>・生育環境改善(水温上昇抑制、溶存酸素量増加)のため、井戸水を土壌中に送る浸透配管の追加設置準備中</li> <li>・野生種と園芸品種を収集・保存(計30種)</li> <li>・伝統園芸植物(桜草など4種)を展示</li> </ul> <p>ふれあいの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各エリアのテーマに沿って五感で楽しめるきめ細やかな植物の管理・展示(可動式の鉢物展示等)を実施</li> <li>・植栽の多様化に向け、新たに8品種の宿根草を導入</li> <li>・スマートフォンアプリ「ココシル」を活用した案内誘導サービス(多言語対応)の運用開始</li> <li>・春と秋に3日間のライトアップを実施。あわせてヨガ、映画、コンサート、オーブオイル絞りなど多様なプログラムを実施</li> <li>・これら総合的な取組に対して、「みどりのまちづくり賞受賞」など社会的評価を受けた</li> </ul> <p>【自己評価】</p> <p>かきつばた園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補植や生育環境改善等により開花数を増やすことができた(花穂数1467本、昨年1056本)</li> </ul> <p>ふれあいの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々五感で楽しめる植物展示、多様なプログラム等を通じて、様々な過ごし方を提供することができた</li> </ul>	S	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施するとともに、提案以上の取組みを実施した。	S	施設所管課評価は適正である。 アプリによる施設案内や、かきつばた園の生育改善などの取り組みは高く評価できる。
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。					
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
自然環境の維持創出、自然環境学習の取り組みについて応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。	

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿って適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	○アンケート結果について ・「全般的な満足度」は1.5点だった。 ・個別項目では、全ての項目において正の点数(0.3~1.6)を示している。 ・相対的に満足度が高くなかった「売店などサービス施設は十分か」(0.3点)に関しては、昨年度アンケート結果(0.5点)も踏まえて、GoodBBQのメニュー等の充実、イベントとのタイアップによるPRなど改善に努めているところであるが、今後はGood BBQを更に前面に押し出したイベントの企画、DM等周辺地域へのPR強化を含めて検討する。 ・「イベントの種類や数は十分か」(0.8点)に関して、昨年度アンケート結果(0.8点)も踏まえ、野外ライブ、映画上映等の新たなイベントの実施や、ヨガ定期開催や薪能実演等のプログラムの充実(回数の増加、演出の充実等)により改善を図っているところであるが、今後も様々なイベントの実施、誘致に積極的に取り組み、さらなる改善、充実に努める。 ・「ホームページやイベントの案内は充実していますか」(0.9点)に関して、ホームページの拡充に加え、今年度より新たに運用開始した「ココシルおおいずみ緑地」も使って情報発信の充実に努める。	A	公園の全体的な満足度は1.5とやや良いを上回っている。 引き続き、低評価の項目についても取り組みを進め、公園利用者の満足度向上を図ることを期待する。	A	総合的な満足度は概ね良好であり、適切な維持管理が行われている。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取り組みを行ったか。	○「売店などのサービス施設」に関して ・GoodBBQ売店において、販売メニューの充実に加え、「企業対抗リレーマラソン」等のイベントとタイアップして参加者限定メニューの提供等に取り組んだ。 ・野外ライブ、サイクルどろんこ広場でのマラソン大会、キッズバイク競技会等のイベント開催時には多くの飲食販売ブースを設け、イベント参加者だけでなく、一般来園者も利用できるサービス施設の充実に努めた。 ○「イベントの種類や数」に関して ・新たなイベントとして、ふれあいの庭での映画上映(4月)、企業対抗リレーマラソン(6月)、大型野外ライブフェスMIKROCK(10月)、相談所での野菜展示販売、かぶとむし相撲体験、香りの体験等を実施した。 ・BMX国際大会について、今年は観覧エリアの整備(フェンスの移設、観覧用盛土造成)に取り組み、より充実した大会運営に協力した。 ・能実演について、今年度は演出を充実させ囃子(笛)を伴う薪能の実演を行った。 ・森林浴ヨガについても、今年度は回数を増やし(7回:H31年4-10月←2回:H30年10月)、内容も充実させて(ライトアップ、アロマ等との組合せ)、実施した。	A	前年度のアンケート調査結果を受けて、従来イベントの回数を増やしたり、新たなイベントに取り組んだ。	A	前年度のアンケート意見に対し、満足度向上のため適切に取り組みを実施している。
	(2) その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	・認知症サポーター養成講座を、堺市地域包括支援センターの協力を得てヒーリングガーデンクラブ(主催)と協働して開催(8月)。認知症施策推進大綱にも謳われている地域の見守り体制の構築に貢献することができた ・地域の防犯と美化に取り組む地元の北堺防犯協議会へ余剰花苗3ケースを提供し、協議会活動に貢献した(6、11月) ・公園管理に関心を持つ学生4名のインターンシップを受け入れた(8月)	A	近隣施設と連携した取り組みにより今後の公園活性化が図られることを期待する。	A

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		【大泉緑地】 評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
<b>Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目</b>						
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	【実績】 ・支出計画に沿った支出配分を行った。  【自己評価】 ・計画通り収支のバランスを取ることができた	A	収支は概ね予定通りである。	A	適切な予算執行である。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)	【実績】 ・応募時に示した責任者体制(総括管理責任者兼運営管理業務責任者1名と副総括管理責任者兼維持管理業務責任者1名の計2名配置)に対して、総括管理責任者1名、副総括管理責任者兼運営管理業務責任者1名、副総括管理責任者兼維持管理業務責任者1名の計3名を配置した。 ・責任者以外の職員配置についても、応募時に示した管理体制を構築し、常時配置すべき職員の最低限のポスト数を確保した。  【自己評価】 責任者については応募時に示した内容以上の、責任者以外の職員については応募時に示した内容に沿った管理体制を構築し、適正に管理業務を遂行できる職員を配置した。	A	事業実施計画書の提案などに沿った管理体制及び職員体制を実施した。	A	適切に管理運営が行われている。
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)	【実績】 ・必置技術者をはじめ、応募時に示した技術者を計画通り配置している。 ・総括管理責任者には、公園管理運営士、1級造園施工管理技士、危険物取扱者乙種4類の資格を持ち、マネジメント業務実務経験10年の常勤者を配置している。 ・副総括管理責任者兼運営管理業務責任者には、防火管理者(甲種)、公園管理運営士、2級造園施工管理技士の資格を持つ常勤者を配置している。 ・副総括管理責任者兼維持管理業務責任者には、1級造園施工管理技士、1級土木施工管理技士、公園管理運営士の資格を持つ常勤者を配置している。 ・電気主任技術者の有資格者は、電気設備点検業務の委託先事業者(一般財団法人関西電気保安協会)にて確保している。 ・特殊庭園専門技術者には、1級造園施工管理技士、2級造園技能士の資格を持ち、かきつばた園及び花壇管理経験10年以上の技術者を配置している。  【自己評価】 必置技術者をはじめ、応募時に示した技術者を計画通り配置した	A	事業実施計画書の提案などに沿った必置技術者を配置した。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営。(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認。)	【実績】 ・毎日朝礼時等に、その日の作業内容と安全対策を確認しています。 ・作業(軽易な日常管理の作業を含む)の前には、KY(危険予知)活動と安全装備の確認を徹底しています。 ・労働安全衛生規則改正に伴う伐木作業等における安全対策強化に対応しています(チェーンソー作業特別教育追加講習、切創防止用保護衣着用等) ・労働・公衆災害は発生していない。 ・乗用芝刈り機、肩掛け草刈り機など機械を用いた除草作業時には、作業員に対する安全装備の着用、作業領域の明示や看板設置による進入禁止処置を徹底した。 ・高所作業車を用いた樹木枝葉の剪定作業時には、作業員に対する安全装備の着用、安全領域の確保と監視員の配置を徹底した。 ・作業実施当日には毎回、維持管理業務責任者と作業員との間で作業計画および安全対策について確認した上で、現場状況も確認するなど、安全指導を徹底して行った。 ・維持管理業務責任者を中心に労働災害防止に向けた安全大会に参加するなど、安全意識の向上を図った。  【自己評価】 ・労働災害、公衆災害の発生を未然に防ぐことができた	A	事業実施計画書の提案などによって労働災害等を防止した。	A	
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)	【実績】 構成団体の経営状況に問題は無い。  【自己評価】 安定的な運営が可能となる経営状況を、計画通り維持できた	A	特に問題は見当たらない。	A	構成団体の財政状態は良好である。